

# 書生演藝廣告

もの學ふ道も開けし今日は舊習きわまる嘶し家や時世はづれの  
講談は看客諸君の御耳には百も承知二百も合点なさるれば我梅  
の家臥龍書生一座は新舊比較の藝くらべふて書生は新奇々稜の  
新落語新作續き嘶し新發明の歌曲を耳新しく御聴きに達し舊嘶  
一家は有名なる三遊派を混交し新舊取ませ當十六日夜より春日  
亭にて看客諸君のお笑みに一座勉強出席仕候に付初日よりき  
くしく御入來御愛顧あらんことを祈ります

書生だしものは大抵左之通り

加波山暴徒日記

(客員)

夢の家無聲

これは無聲居士此事件にて三年の久しき獄中に深吟せし實歴  
の嘶しなり

所世叢談

(三味線  
太鼓入)

今様廣治

社凡國風頼舎ブラツク自由國漫遊の奇談掛合にて鳴物入成田  
屋新駒屋類似聲色入にて相勤申候

自由笑談

(全)

梅の家臥龍

諸新聞奇談及明治才子傳の内の殺人罪及國事犯懸疑の裁判等  
新作にてお耳新しく演談仕候

又大切前後にて

滑稽討論掛合嘶し

書生惣出

初日 討論題 下戸と上戸との何れか優れりや  
二日目 全 宗教論八十川釋ヶ嶽相樸の勝敗  
三日目 全 やきもちの可否

芝區三田

明治廿五年九月  
十六日夜より 座長 春日亭主人 謹白  
梅の家臥龍

御愛顧諸君御中